

日本福祉大学国際学部・日本語教育センター

近年、日本の小中学校に在籍する外国にルーツをもつ生徒が「特別支援学級」で学びを進めるケースをよく見かけます。そもそもことばの壁が高すぎて生徒が授業を理解できていないのか、何らかの発達障がいを抱えているために理解できていないのかについて、専門の知識を持たない学習支援教室のボランティアにとって、その判断は非常に難しいところです。また、教員や教育の専門家であっても、他言語や異文化の要因が含まれてくると、その対応策に困る場面が多く見られます。

そこで今回のサミットでは、長年、外国にルーツのある障がい児への専門的な対応をしてこられた、豊田市福祉事業団の理事長である高橋 脩先生をお招きし、外国にルーツのある方々の障がいに対する捉え方や、発達障がいのある子どもへの具体的な対応について教えていただく機会を設けます。

また、午後には高橋先生にファシリテーターをお願いし「外国にルーツをもつ児童生徒の学習課題について」をテーマに、地域でのサポート事例を共有するディスカッションを行います。ぜひ、さまざまな観点からこの課題に関わっていらっしゃる方に集まっていただけたらと考えています。

日時：2025年3月16日(日) 10:00～16:00

場所：日本福祉大学 東海キャンパス（名鉄「太田川」駅から西へ徒歩5分）

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください



高橋 脩先生

スケジュール

09:30 受付開始

10:00 開会の挨拶

10:15 基調講演

「外国にルーツをもつ発達障がい児の理解と支援」 高橋 脩先生（豊田市福祉事業団 理事長）

1972年に鳥取大学医学部を卒業、附属病院精神科で研修。その後は東大阪市療育センター、オーストラリア・シドニー市の病院、愛知県心身障害者コロニー中央病院などを経て1996年に豊田市子ども発達センターのセンター長に就任。2015年に退任後は同センターなどを運営する豊田市福祉事業団理事長となり現在に至っている。長年にわたり障がい児医療・福祉に携わる。専門は児童精神医学ことに発達障がいである。

12:00 昼休憩・交流

お弁当のご注文（お茶付・税込1,000円）を受け付けます

裏面をご覧ください。ご自身で持参して召し上がっていただくことも可能です

13:00 ディスカッション・ワークショップ

「外国にルーツを持つ児童生徒の学習課題について」

ファシリテーター：高橋 脩先生（豊田市福祉事業団 理事長）

パネラー：平吹 洋子先生（豊田市外国人児童生徒サポートセンター アドバイザー）

榎原 秀美先生（半田市東保育園園長）

竹内 あつ子先生（ちたビジョンプロジェクト副代表）

14:30 質疑応答・ディスカッション

15:30 ティータイム（交流時間）

16:00 閉会



共生社会のための日本語教育

日本福祉大学「日本語教育サミット 2025」開催



参加される方は、(1) または (2) の方法でお申し込みください

(1) グーグルフォーム

右のQRコードを使って、フォームからお申し込みください。
お弁当のご注文（税込 1,000 円）も同じフォームで受け付けます。



(2) メール

QRコードを開くことができない方は、お名前、ご所属、ご連絡先、お弁当の必要有無を明記した上、
jpn-center@ml.n-fukushi.ac.jp へてにメールでお申し込みください。

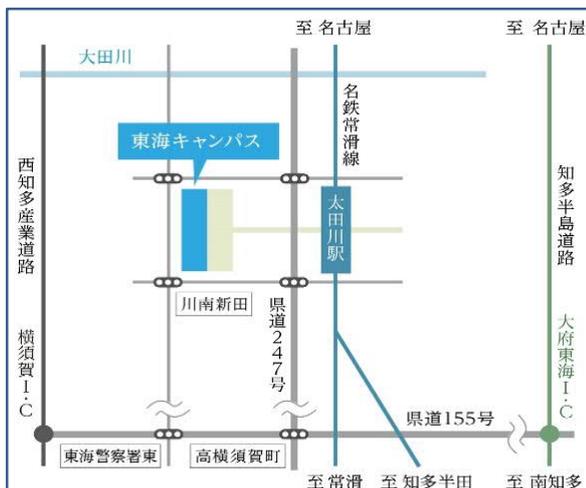
❖ 申し込み期限

会場準備の都合上、3月7日(金)までにお申し込みください。

*お問い合わせは日本福祉大学日本語教育センターまで(jpn-center@ml.n-fukushi.ac.jp)

*このサミットは、日本福祉大学70周年記念事業の一環として行います

*駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください



(連絡先)

日本福祉大学国際課 担当：井原
愛知県東海市大田町下浜田 1071

(0562) 39-3811